

# 監査結果報告書

令和3年6月5日

社会福祉法人つばさ福祉会

理事長 渡部 圭子 様

社会福祉法第45条の18及び関係法令に基づき実施した令和2年度監査結果について次の通り報告します。

監事 福田 光則 

監事 塩沼 克也 

監査日時	令和3年6月5日（土曜日）10時00分～12時00分
監査場所	社会福祉法人つばさ福祉会 幼保連携型認定こども家
監査実施内容	令和2年度会計期間に係る決算書の関係書類と財産の状況
監査結果	<p>監事の意見</p> <p>理事会に出席し、理事及び職員等からコロナ禍で厳しい環境での職務執行状況等について報告を受け事業の進捗状況を確認しました。また、理事会議事録への署名を行いその議事録は適正に整理保管されています。</p> <p>1. 決算書の関係書類及び財産の状況</p> <p>決算書の関係書類から資金の収入、支払いを示す（資金収支計算書）、資産の増減を示す（事業活動計算書）、そして法人の財産状況を示す（貸借対照表）、全ての資産と負債を示す（財産目録書）など全ての重要な点において点検を行い、整合性を確認し適正に処理されています。</p> <p>白馬デイサービスセンター、東京都地区保育園の拠点は順調な経営状態ですが「幼保連携型認定こども園こどもの家」「さいとみんなの家」の収益が減少しておりて厳しい状況です。</p> <p>減少の要因として、少子化により入園児の減少や新型コロナ関係による保育園利用者の減少等と思われます。</p> <p>今後、各拠点ごとに課題策を具体的に取組むことを要望します。</p> <p>2. 新型コロナウイルス感染のリバウンドが懸念され、変異株も増加している中で、更なる感染予防対策を徹底し、感染者を出さない策に努めて下さい。</p>
	指摘事項